

# 2・3年合同学年通信

新宮町立新宮東中学校  
令和7年10月10日 2学年第57号  
3学年第 8号  
文責:江頭・長崎

## [合唱って素敵です！]

さて、今週はいよいよひがし文化発表会が行われます。そびあしんぐうにて、合唱コンクールも予定されています。昼休みも放課後も合唱の練習を頑張っている姿を見て、私たち（長崎・江頭）も胸が熱くなったので、今日は私たちが感動した【合唱】を紹介して、合唱の素晴らしさをお伝えしたいと思います。

## [2023年9月14日阪神甲子園球場にて]

私たちが最も感動した合唱は、野球の試合中に突然行われました。（音楽科の宮川先生としては「これは合唱じゃない！」と思われそうですが。。。笑）**阪神対巨人戦で、阪神タイガースが9回表を抑えれば18年ぶりのリーグ優勝というところで登板した岩崎選手の登場曲、「栄光の架橋/ゆず」がかかった場面です。**この曲はもともとは岩崎選手の登場曲ではなく、岩崎選手の同期の横田慎太郎選手の登場曲でした。横田慎太郎選手は阪神タイガースの選手でしたが、脳腫瘍の後遺症のため2019年に現役を引退、2023年に脳腫瘍のため、28歳という若さで亡くなりました。横田慎太郎さんの活躍は、『奇跡のバックホーム』というタイトルで書籍やテレビ番組になっていますので、気になった方は確認してみてください！



18年ぶりのリーグ優勝がかかった大切な場面で、岩崎選手はその年になくなった同期の横田選手の登場曲である「栄光の架橋/ゆず」を登場曲として選びました。球場の阪神ファンは、すぐに「横田の曲や～！（原文のまま）」と叫び、一緒に大合唱し、甲子園は1つとなりました。約4万人による大合唱は、youtubeにもあがっていますので、是非、一度聴いてみてください。「いくつもの日々を超えて、たどり着いた今

がある。だからもう迷わず進めばいい、栄光の架け橋へと。」この歌詞は、阪神ファンが岩崎選手の背中を押すと同時に、横田選手が岩崎選手に思いを託して、語りかけているようでした。

無事、勝利した阪神タイガースの岩崎選手は優勝の胴上げの際に、横田選手の背番号24のユニフォームをもって、胴上げされます。（見にくいでですが、左手です。）その模様を中継していたサンテレビの湯浅明彦アナウンサーが、「横田さん、今どこで見ていますか？先輩たちが、同期生たちが、そして、あなたの愛した後輩たちが、優勝とう最高の結果を残してくれましたよ。あなたのことは一生、忘れません。」と言葉を添え、テレビを見ているファンも感動しました。（動画は右図QRコードより）



ここまで語っても、実際にこの大合唱を見ていないとこれからのは話は分かりにくいかもしれません。合唱の素晴らしさは【人の思いが合わさる】ことだと思います。同じタイミングで息を吸い、同じテンポで、それぞれのメロディーを、歌詞に思いを込めて伝える。言葉で表すだけで素敵です。みなさんには、それを体験する機会が来週末に控えています。今まで以上に本番に向けて、練習に力をいれましょう。

## [（保護者のみなさまへ）10月17日（金）ひがし文化発表会当日はお弁当持参です！]

日頃から学校の教育活動へのご理解とご協力ありがとうございます。文化発表会当日の10月17日（金）はお弁当持参となります。お忙しい中ではありますが、お弁当のご準備をよろしくお願いします。